

呉工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	都市計画
科目基礎情報						
科目番号	0072			科目区分	専門 / 選択必修	
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	環境都市工学科			対象学年	3	
開設期	前期			週時間数	2	
教科書/教材	谷口守「入門 都市計画:都市の機能とまちづくりの考え方」, 森北出版					
担当教員	神田 佑亮					
到達目標						
1.都市計画の歴史的経緯と現代の都市計画への影響が説明できる。 2.各種土地利用計画手法、市街地開発事業、土地区画整理事業について説明できる。 3.都市施設計画、バリアフリー・ユニバーサルデザイン、公園緑地計画について説明できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	都市計画の歴史的経緯と現代の都市計画への影響について適切に説明できる。		都市計画の歴史的経緯と現代の都市計画への影響について説明できる。		都市計画の歴史的経緯と現代の都市計画への影響について説明できない。	
評価項目2	各種土地利用計画手法、市街地開発事業、土地区画整理事業について適切に説明できる。		各種土地利用計画手法、市街地開発事業、土地区画整理事業について説明できる。		各種土地利用計画手法、市街地開発事業、土地区画整理事業について説明できない。	
評価項目3	都市施設計画、バリアフリー・ユニバーサルデザイン、公園緑地計画について適切に説明できる。		都市施設計画、バリアフリー・ユニバーサルデザイン、公園緑地計画について説明できる。		都市施設計画、バリアフリー・ユニバーサルデザイン、公園緑地計画について説明できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	都市計画の考え方、都市計画の立て方や手法の基礎知識を習得することを目的とする。具体的には、都市計画の必要性、都市計画の歴史、都市計画の立案と法制度、土地利用計画、都市施設計画、市街地整備の計画等について学ぶ。また、常に変化する社会ニーズや社会問題に対応した新しい都市計画やまちづくりについて事例を示しながら解説する。なお、本授業は進学と就職に関連する。また、進路や人間力向上に関連するトピックスを適宜、紹介する。					
授業の進め方・方法	基本は座学形式で進める。					
注意点	専門科目ではじめての計画系の授業です。計画学の重要性をよく理解することと、人々が生活しやすい都市はどのような都市なのかを常に考えてほしい。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	2ndQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建設系分野	計画	国土と地域の定義を説明できる。	4	後1
				日本、世界における古代、中世および現代の都市計画の思想および理念と実際について、説明できる。	4	後2,後3
				都市計画法と都市計画関連法の概要について、説明できる。	4	後4,後6
				土地利用計画と交通計画について、説明できる。	4	後6,後7,後9,後12
				総合計画とマスタープランについて、説明できる。	4	後5
				都市計画区域の区域区分と用途地域について、説明できる。	4	後12
				緑化と環境整備(緑の基本計画)について、説明できる。	4	後13
				風景、景観と景観要素について、説明できる。	4	後12
				都市の防災構造化を説明できる。	4	後12
				土地区画整理事業を説明できる。	4	後11

				市街地開発・再開発事業を説明できる。			4	後10
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100	
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	
専門的能力	80	0	0	0	20	0	100	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	